高校3年生　年間指導計画表

教科目(単位数)	数学特講ⅡB(他大クラス・理系、3単位)
年間目標	演習を通して、数学ⅠAⅡBの範囲について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。また、事象を数学的にとらえ，対象を論理的に考察するとともに過程を振り返り多面的・発展的に考える。さらに、数学的な考察，数学的な表現・処理の仕方や推論の方法を身につける。そして、センター試験の数学において、8割の得点率をとれるようにするとともに、国公立2次や私大理系数学で高得点がとれるようにする。
使用教科書	東京書籍『数学Ⅰ』『数学A』『数学Ⅱ』『数学B』
使用補助教材	啓林館/河合塾「システム数学　入試必修問題集　練磨」

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	数学ⅡB	センター試験対策 国公立2次・私大対策	基本問題を通して総復習をするとともに、客観試験に特有な解法や記述試験の練習も行う。
	後半	数学ⅡB	センター試験対策 国公立2次・私大対策	基本問題を通して総復習をするとともに、客観試験に特有な解法や記述試験の練習も行う。
2学期	前半	数学ⅡB	国公立2次・私大対策	頻出問題や過去問を利用して、記述試験対策・融合問題対策を行う。
	後半	数学ⅡB	センター試験対策	センター過去問等を利用して、マーク式の問題に慣れ、実践力を身につけさせる。

評価方法	1　定期試験の成績 知識・理解に偏ることなく、数学的な考え方、表現・処理をみるための問題も出題します。 2　学習態度等の平常点 課題の提出状況・課題テスト・小テストの成績などを評価します。 1、2を本校評価法に合わせて判断します。

学習方法	1. 問題集の例題をノートに写しながら、問題の解き方を理解する 2. 例題の下にある問題を解いて、理解を深める 3. 参考書を使って、問題を解く(解法のポイントや要点もまとめる)

注意事項	大学受験のための数学を学ぶには段階がある。第1段階は「基本問題」の解法を習得する段階である。第2段階は、「典型問題」の解法を習得する段階である。最後の段階に「融合問題」のように広範囲にわたる知識を要する実戦的な入試問題を解けるようにする段階である。各段階において、参考書の内容を全部暗記すること自体に価値があるわけではなく、必要な情報を検索し、活用する技術にこそ価値がある。解けなかった問題は、まずその問題の「問題文から何を読み取って、どのように解答に結び付けているのか」解説を読めば分かるという状態に持っていくことを目指すことである。最後に入試問題を解けるようになるには、一定量の知識を確保したら、その知識を用いてアウトプットの練習を積極的に行うことである。解けなかった問題が出てきたとき、その問題の解答を熟読し、参考書でその問題で使われている考え方や解法が収録されている問題を探すのです。難しい問題といっても、考え方そのものは基本的なものを組み合わせていることが多い。また、多くの問題をやっていく中で、「知らないこと」もたくさん出てくるだろう。そのときは、その知識をその場で覚えれば良い。そしてまた出てきたら今度は使えるように知識として準備すれば良い。

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	インフルエンザ等による長期休業中は、教科書・問題集・参考書とノートを用いて復習を進めておきましょう。方法としては、始めに教科書を読んで、用語や記号の定義や公式をまとめ、その後に例と例題の問題文と解説・解答を書き写します。その際、疑問点などを書き加えておくと良いでしょう。問題集、フォーカスゴールドの例題・練習に挑戦してください。上記の学習の方法を参照してください。そして、余裕ができたら、予習に手を伸ばしてください。 シラバスに載っている授業計画をよく見て、どの程度進めるべきかを確認するようにしてください。